

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画（秋田 看護）

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	大学 通し 番号
	記号	施策	一連コ ード	記号	内容		
理念・目的	ア	大学の建学の精神と教育理念に基づき制定された入学者受入れの方針（AP）、教育課程編成・実施の方針（CP）及び卒業認定・学位授与の方針（DP）が連関し運用されているかを検証し、不断に見直していく。	1	ア	大学の建学の精神と教育理念に基づき制定された入学者受入れの方針（AP）、教育課程編成・実施の方針（CP）及び卒業認定・学位授与の方針（DP）が連関し運用されているかを検証し、不断に見直していく。	経営会議	10
	イ	学長の方針、中・長期の計画や経営情報について、ホームページ等で学生への周知を図るとともに、教職員に対しては全教職員会議において経営状況等の報告を行い、経営意識の醸成、共有化を図る。	960	イ	全教職員会議において本学の経営状況の報告を行い、経営意識の醸成、共有化を図る。	事務局（総務課）	20
	ウ	秋田キャンパスの運営の基本目標と方向を定め、その実現のための中期計画を定め、全学的な取り組みを推進していく。	10	ウ	グランドデザインを公表するとともに、地域の関係機関・団体に周知する。	学長政策室	30
内部質保証	ア	内部質保証については、「日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学内部質保証委員会規程」に基づき、全学レベル、学部・プログラムレベル、科目レベルでシステムを整備し、内部質保証体系図として取りまとめ、教職員間で共有し、自己点検・評価を実施している。今後、機関別認証評価を念頭に、中期計画の体系に基づく自己点検・評価方法への見直しを進める。	1110	ア	新たな自己点検方式を導入し、点検を行う。	学長政策室	40
	イ	教育、研究、社会貢献及び大学運営に係る内部質保証システムについて、関連規程等に基づきPDCAサイクルの運用を統括し、毎年度その点検・評価の結果を公表する。	20	イ	自己点検・評価シートを作成する。	内部質保証委員会	50
	ウ	・経営会議は、内部質保証委員会から各レベルのPDCAサイクルの実施状況の報告を受けるとともに、各委員会等に対して、必要な改善指示等を行う。	30	ウ	全学のPDCAサイクルの実施状況を検証し、改善に向け、各委員会等に指示等を行う。	経営会議	60
	エ	内部質保証システム、全学的な体制、AP、CP及びDP、関連規程について、その適切性・妥当性を点検・評価し、改善・向上に向けて取り組む。	25	エ	内部質保証システム、全学的な体制、AP、CP及びDP、関連規程について、その適切性・妥当性を点検・評価し、改善・向上に向けて取り組む。	学長政策室	70
	オ	体系的・段階的・継続的なFD・SD研修会の企画・開催及び他機関が開催する研修会の情報提供や参加を奨励することにより、大学運営に必要な知見の獲得等、教職員の資質の向上を図る。	1060	オ	組織的かつ多面的なFD及びSD活動の実施に向けて、委員会組織を超えた自由度の高い研修会を共同で開催するなど、教育の質保証に向けた全学的なニーズを把握し推進する。	FD・SD委員会	90
カ	大学院、学部、短大、事務職員、全教職員などそれぞれが抱える問題点を踏まえ、年度ごとに体系的なFD・SDを実施する。			FD・SD委員会	90		
キ	SD研修会において、財務や運営、大学改革、学生確保に向けた方策など大学の経営的な視点から研修を実施し、持続可能性の観点から本学の教職員が目指すべき方向性を共有する。			FD・SD委員会	90		

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画（秋田 看護）

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	大学 通し 番号
	記号	施策	一連コ ード	記号	内容		
内部質保証	カ	学内外のIRに関するデータの収集・管理・分析を行う。また、分析結果を活用できるよう働きかけを行い、意思決定や計画策定等、PDCAサイクルが機能できるように支援する。	150	ク	定期的なIRデータの収集、管理、分析の依頼に対応する。	IR推進室	100
教育研究組織	ア	教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行い、その結果を基に改善・向上に向けて取り組む。	927	ア	本学の理念・目的に照らして、定期的な組織体制の見直し実施する。	学長政策室	110
	イ	地域共生センター（仮称）の設置に向けて取り組む。	870	イ	地域共生センター（仮称）の基本構想の検討を開始する。	学長政策室	120
	ウ	社会の要請に応える教育を展開していくために、教育に関する情報の恒常的な把握に努め、学生が教育を受ける機会を保証する。	160	ウ	教学マネジメント会議の運営においてIR情報を活用した教育研究活動の検証をする。	教学マネジメント会議	130
				エ	教学マネジメント会議の運営において、アセスメントポリシーを踏まえたDP、CP、APの適切性に係る検証をする。	教学マネジメント会議	130
	エ	学部及び大学院の教育課程の編成に関する方針及び教育の質の向上について検討するとともに、教育研究組織を定期的に点検・評価して、その結果を基に改善・向上に向けて取り組む。	180	オ	教育指導の実践・結果・評価の有機的な展開に向けて、企画し、運営する。	教学マネジメント会議	140
教育課程・学習成果	ア	理念・目的を実現するため、体系的・組織的な教育課程の編成を検討する。	225	ア	理念・目的を実現するため、体系的・組織的な教育課程の編成を検討する。	教務委員会 (学部)	155
	イ	アセスメント・ポリシーに基づき、大学レベル、学部レベル及び科目レベルの3段階で学習成果を可視化し、教育課程の評価・改善を検討する。	230	イ	教育課程を評価し、改善する。	教務委員会 (学部)	160
	ウ	医療現場のDXに対応した人材育成のための教育方法を検討する。	270	ウ	ICTを活用した授業の実態とその効果を検証する。	教務委員会 (学部)	170
	エ	地域共生に対応する人材育成のために、多職種連携教育(Interprofessional Education; IPE)の導入を検討する。	350	エ	IPEの実態とその効果を検証する。	教務委員会 (学部)	180

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画（秋田 看護）

学園大目標	中期計画			事業計画			大学 通し 番号
	記号	施策	一連コ ード	記号	内容	担当委員会	
教育課程・学習 成果	オ	グローバルに活躍する人材育成をめざした教育課程の編成を検討する。	410	オ	現行カリキュラムを評価し、グローバルに活躍できる人材育成を検討する。	教務委員会 (学部)	190
	カ	地域共生に対応する人材育成のために、多職種連携教育(Interprofessional Education; IPE)の導入を検討する。	370	カ	現行カリキュラムを評価し、赤十字科目を検討する。	教務委員会 (学部)	200
	キ	赤十字マイスター（仮称）認証制度を創設する。	550	キ	赤十字関連科目の単位を全て取得し、赤十字教育委員会が定めた活動を点数化し、一定の点数に達した学生を表彰する。	赤十字教育委員会	210
	ク	赤十字の理念の理解と実践を促進する学校行事を開催する。	530	ク	国内外の人道危機等に関する講演会を実施する。	赤十字教育委員会	220
				ケ	災害看護学等の科目と連携し、全学的に災害救護訓練を実施する。	赤十字教育委員会	220
				コ	青森県で国際活動豊富な講師による講話を聴いたり、レイド・クロス等を用いて赤十字の原則に基づいた行動規範を学ぶ。	赤十字教育委員会	220
				サ	イタリア・スイスを訪問し赤十字に関連した史跡等を視察したり、ICRC、IFRCの本部をはじめ国際機関を視察する。	赤十字教育委員会	220
				シ	オーストラリアまたは北米で英語の語学研修を実施する。	赤十字教育委員会	220
				ス	春と冬にキャンプを通して防災・減災の知識とスキルを学ぶ。	赤十字教育委員会	220
ケ	学生の学習を活性化し、学修者本位の効果的な教育を行うための様々な措置を講じ、成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行う。	215	セ	学生の学習を活性化し、学修者本位の効果的な教育を行うための様々な措置を講じ、成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行う。	教務委員会 (学部)	230	

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画（秋田 看護）

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	大学 通し 番号
	記号	施策	一連コ ード	記号	内容		
教育課程・学習 成果	コ	高度専門職業人及び教育・研究者等を養成する場として、履修証明プログラムによる単位修得の活用等を検討し、教育体制の充実を図る。また、病院等の施設訪問の際、本プログラムの紹介を行う。	330	ソ	2023年度設立の履修証明プログラムをスムーズに運用開始する。	教務委員会 (大学院)	250
	サ	卒業認定・学位授与の方針に示した学生の学習成果を適切に把握し評価する。	235	タ	卒業認定・学位授与の方針に示した学生の学習成果を適切に把握し評価する。	教務委員会 (学部)	260
	シ	GPA制度を活用した学習成果の修得状況の把握と関連する影響要因を検討する。	240	チ	GPA制度を活用した学習成果の修得状況と関係する影響要因を考察する。	教務委員会 (学部)	270
	ス	学修者本位の教育の実現に向けて、授業評価アンケートや実習ポートフォリオから授業内容・方法の評価・改善を検討するとともに、ディプロマ・サプリメントの運用を開始する。	220	ツ	授業評価アンケート回収率向上に向けたアナウンスとシステム上の改善を図る。	教務委員会 (学部)	280
				テ	ディプロマサプリメントを運用する。	教務委員会 (学部)	280
	セ	教育カリキュラムを定期的に点検・評価を行い、その結果を基に改善・向上に向けて取り組むことで、教育の質を担保する。	170	ト	令和3年度より計画・実施している教学マネジメント会議を踏まえた「学習成果の可視化」に関する系統立てた研修を、引き続き行う。	教学マネジメント 会議	290
				ナ	学生自身の学修の振り返りの促進、授業改善の促進を図るために、教員自身による授業の達成状況を点検・改善するツールとして導入したティーチング・ポートフォリオ（TPF）を、引き続き活用していく。	教学マネジメント 会議	290
	ソ	大学運営に関する重要事項について、「外部有識者会議」の委員から聴取した意見を関係部署へフィードバックし、課題を改善する仕組みを構築する。	950	ニ	「外部有識者会議」において聴取した意見を、大学運営に反映する仕組み作りに着手する。	事務局(総務課)	300
	タ	アクティブ・ラーニングを導入した教育方法の評価と発展を検討する。また、ICTを導入した教育方法を検討する。	300	ヌ	FD・SDにてアクティブラーニングの共通理解を深める。	教務委員会 (学部)	320
	チ	東北エリアでの看護教育の拠点となるべく、遠隔授業システムやe-ラーニング教材の充実を図る。	430	ネ	現行カリキュラムを評価し、遠隔授業システム、e-ラーニング教材を検討する。	教務委員会 (学部)	330

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画（秋田 看護）

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	大学 通し 番号
	記号	施策	一連コ ード	記号	内容		
教育課程・学習 成果	チ	東北エリアでの看護教育の拠点となるべく、遠隔授業システムやe-ラーニング教材の充実を図る。	450	ノ	それぞれの授業科目に遠隔授業を取り入れるよう働きかけを行う。	教務委員会 (大学院)	330
	ツ	文部科学省等の指針を受け、生成AIを利用した教材や教授法への活用に関する検討を行う。	440	ハ	必要時、研究科と学部の教務委員会で連携を取りながら生成AIの教育への活用に関する情報収集を行う。	教務委員会 (大学院)	340
	テ	学習課題と取組時間を授業ごとに提示し、事前事後学習の促進に繋げる。	290	ヒ	シラバス記載要領を説明し、シラバスを確認する。	教務委員会 (学部)	350
学生の受け入れ	ア	理念・目的を実現するため、入学者受入れの方針を適切に公表する。	125	ア	理念・目的を実現するため、入学者受入れの方針を適切に公表する。	入試・広報委員会(学部)	360
	イ	アドミッション・オフィサー等を配置した効果等、入学者選抜体制の妥当性を評価し、経営会議に対して報告する。	190	イ	IR分析による検証を行い、入試選抜制度の妥当性を点検し、結果を教授会及び経営会議に報告する。	入試・広報委員会(学部)	370
	エ	入学定員に対して、入学者を適正に確保するとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理する。	132	ウ	入学定員に対して、入学者を適正に確保するとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理する。	入試・広報委員会(学部)	400
	オ	学園本部の広報戦略を踏まえ、本学の広報方針の策定を検討する。	970	エ	広報戦略検討部会の検討内容を整理する。	事務局(入試・ 広報課)	410
	カ	オープンキャンパス開催、合同説明会への参加及び高校訪問等、学生募集のための広報活動を強化する。	40	オ	オープンキャンパスを開催する。	入試・広報委員会(学部)	420
カ				県内外及び高校ガイダンス等へ参加する。	入試・広報委員会(学部)	420	
キ				県内外への高校訪問を実施する。	入試・広報委員会(学部)	420	

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画（秋田 看護）

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	大学 通し 番号
	記号	施策	一連コ ード	記号	内容		
学生の受け入れ	キ	高大連携協定高校への取り組みを充実し、本学入学へ誘引する。	90	ク	現協定校との連携事業を実施する。	入試・広報委員会(学部)	430
				ケ	高大連携校を検討・提案する。	入試・広報委員会(学部)	430
	ク	県内高校出身学生の確保のための取り組み策を強化する。	100	コ	秋田県内の高校教諭を対象とした説明会を開催する。	入試・広報委員会(学部)	440
				サ	秋田県内の中学校・高校を対象とした学校見学を開催する。	入試・広報委員会(学部)	440
	ケ	個々の研究指導教員のネットワークの活用、病院等の施設訪問の強化等、多様なチャンネルによる大学院の学生確保の取り組み策を検討・実施する。	50	シ	研究指導教員等からの情報を収集し、訪問先施設を精査し、より確実な学生確保に繋げる。	入試・広報委員会(大学院)	450
				ス	学部生対象大学院説明会の開催で、意識づけおよび大学院受験へ誘引する。	入試・広報委員会(大学院)	450
教員・教員組織	ア	理念・目的を実現するため、「日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学がめざす教職員像」を教職員間で共有するとともに、教員配置計画を策定し、適正な教員の配置及び昇任等を行う。	1070	ア	教員及び事務局職員の配置計画策定作業を開始する。	学長政策室	460
	イ	体系的・段階的・継続的なFD・SD研修会の企画・開催及び他機関が開催する研修会の情報提供や参加を奨励することにより、大学運営に必要な知見の獲得等、教職員の資質の向上を図る。	1060	イ	組織的かつ多面的なFD及びSD活動の実施に向けて、委員会組織を超えた自由度の高い研修会を共同で開催するなど、教育の質保証に向けた全学的なニーズを把握し推進する。	FD・SD委員会	470
				ウ	大学院、学部、短大、事務職員、全教職員などそれぞれが抱える問題点を踏まえ、年度ごとに体系的なFD・SDを実施する。	FD・SD委員会	470
エ	SD研修会において、財務や運営、大学改革、学生確保に向けた方策など大学の経営的な視点から研修を実施し、持続可能性の観点から本学の教職員が目指すべき方向性を共有する。	FD・SD委員会	470				

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画（秋田 看護）

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	大学 通し 番号
	記号	施策	一連コ ード	記号	内容		
教員・教員組織	ウ	ティーチング・ポートフォリオ（TP）の作成による教育の質向上を目指し、様式の整理による教員の作成率の向上を図る。	210	オ	TP作成要領見直しの検討会議を開催をする。	内部質保証委員会	480
				カ	TP作成・活用に関する研修を開催する。	内部質保証委員会	480
				キ	TPの作成を推進する。	内部質保証委員会	480
	エ	大学院学生にティーチング・アシスタント（TA）として従事する活動を通じて、教授法や教員としての素質を伸ばす機会の充実を図る。	570	ク	ティーチング・アシスタント制度に関する具体的事項を検討する。	教務委員会 （大学院）	490
	オ	教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行い、その結果を基に改善・向上に向けて取り組む。	925	ケ	教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行い、その結果を基に改善・向上に向けて取り組む。	学長政策室	500
学生支援	ア	理念・目的を実現するため、学生支援に関する方針を明示し、修学支援、生活支援、進路支援等学生支援を適切に行う。	575	ア	理念・目的を実現するため、学生支援に関する方針を明示し、修学支援、生活支援、進路支援等学生支援を適切に行う。	学生活動・キャリア支援委員会 （学部）	520
	イ	学修支援の一助として、大学独自の給付型奨学金制度等の導入について検討する。	640	イ	学修支援の一助として、大学独自の給付型奨学金制度などの導入可否について検討を開始する。	学長政策室	530
	ウ	学生の学修意欲向上を目的とした特待生制度の運用、評価を行う。	650	ウ	特待生制度の実態と効果を検証する。	教務委員会 （学部）	540
	エ	学生の学修支援にあたっては、学生の多様性に配慮した、学習環境を整備する。	590	エ	整備計画策定のため、動向及びニーズ調査（サークル等へのインタビュー、他大学の取組の情報収集と個人情報取扱いの取り決めなど）。	学生活動・キャリア支援委員会 （学部）	550
600			エ	整備計画策定のため、動向及びニーズ調査（サークル等へのインタビュー、他大学の取組の情報収集と個人情報取扱いの取り決めなど）。	学生活動・キャリア支援委員会 （大学院）	551	

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画（秋田 看護）

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	大学 通し 番号
	記号	施策	一連コ ード	記号	内容		
学生支援	エ	学生の修学支援にあたっては、学生の多様性に配慮した、学習環境を整備する。	600	オ	学生生活アンケートを実施する。	学生活動・キャリア支援委員会 (大学院)	555
	オ	学生の能力に応じた学修支援体制の充実を図る。	460	カ	特別研究・課題研究に対する早期取り掛かりを勧め、能力に応じた時間をかけた支援が可能となるように働きかける。	教務委員会 (大学院)	560
	カ	学習環境に係る全学的な整備状況の把握及び整備要望を下に、経営会議において必要な整備について協議する。	470	キ	学習環境整備（施設・設備、学習・情報資源）と学生支援に関する検証と整備要望のとりまとめを行う。	学術マネジメント 会議	570
	キ	学生個々の事情に配慮した支援を徹底する。	710	ク	院生から進路相談があった場合に相談を受けるとともに、希望があれば履歴書の添削や面接練習を行う。	学生活動・キャリア支援委員会 (大学院)	580
				ケ	合同就職説明会に秋田県内の医療機関を招聘する。	学生活動・キャリア支援委員会 (大学院)	580
	ク	策定した学生支援アドバイザーの業務ガイドラインを運用し、適切な学生相談対応を目指す。	580	コ	学生支援アドバイザーの支援状況を把握し課題を抽出する。	学生活動・キャリア支援委員会 (学部)	590
				サ	・他大学における学生支援アドバイザーの業務内容を調査する。 ・本学における学生支援アドバイザー業務ガイドラインの試案を作成する。	学生活動・キャリア支援委員会 (学部)	590
	ケ	日本赤十字社の支部や医療施設等の奨学金について、応募情報の把握と公開、募集に関する年間フローの作成による情報の一元化により、学生の奨学金応募への準備性を高める。	660	ス	国や自治体、医療施設等が実施する奨学金制度を情報収集する。	学生活動・キャリア支援委員会 (学部)	600
	コ	低学年から計画的にキャリア教育や就職支援の機会を設け、社会情勢の変化に応じた幅広い進路選択ができるよう支援体制を維持する。	700	セ	進路ガイダンスとして外部事業者によるキャリア支援のための講座を開催する。	学生活動・キャリア支援委員会 (学部)	610
				ソ	合同就職説明会を開催する。	学生活動・キャリア支援委員会 (学部)	610

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画（秋田 看護）

学園大目標	中期計画			事業計画			大学 通し 番号
	記号	施策	一連コ ード	記号	内容	担当委員会	
学生支援	コ	低学年から計画的にキャリア教育や就職支援の機会を設け、社会情勢の変化に応じた幅広い進路選択ができるよう支援体制を維持する。	700	タ	社会情勢の変化に応じて手引きを改訂する。	学生活動・キャリア支援委員会 (学部)	610
	サ	学生の就職志望の実現を支援する。	720	チ	合同就職説明会に赤十字関連施設を招聘する。	学生活動・キャリア支援委員会 (学部)	620
	シ	学友会等の自主的な学生の課外活動の充実を図る。	760	ツ	新旧役員間の円滑な引継ぎを行い、学友会組織を改編するなどにより、年度早期に総会を開催し、事業実施につなげる。	学生活動・キャリア支援委員会 (学部)	630
				テ	・学園祭や学生交流イベントを開催する。	学生活動・キャリア支援委員会 (学部)	630
				ト	・既存サークル活動を充実させ、新規サークル活動を支援する。	学生活動・キャリア支援委員会 (学部)	630
	ス	養護教諭養成課程の卒業生主体のネットワークの形成を促進する。	340	ナ	養護教諭一種課程卒業生の会名簿作成に着手する。	教職課程専門委員会	640
	セ	本学と同窓会の連携のあり方や活動内容等（卒業生のUターン支援を含む。）について検討する。	880	ニ	入学案内書類に同窓会資料を同封する。併せて同窓会費を徴収する。	学生活動・キャリア支援委員会 (学部)	650
				ヌ	同窓会と学部・学科と合同で連携会議を定期的に開催する。	学生活動・キャリア支援委員会 (学部)	650
	ソ	赤十字に関する情報発信やサークル活動の支援等、学生の赤十字の理念の理解と実践を促進する。	540	ネ	地域の様々な災害等に対する学生ボランティア活動を行うために赤十字防災ボランティア・ステーションを運営する。	赤十字教育委員会	660
				ノ	教職員が日本赤十字社が実施する救急法救急員の研修を受講する際の費用を補助する。	赤十字教育委員会	660

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画（秋田 看護）

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	大学 通し 番号
	記号	施策	一連コ ード	記号	内容		
教育研究等環境	ア	理念・目的を実現し、学生の学習及び教員による教育研究活動を十分に行うことができるよう、教育研究等環境の整備に関する方針を明示する。	1035	ア	理念・目的を実現し、学生の学習及び教員による教育研究活動を十分に行うことができるよう、教育研究等環境の整備に関する方針を明示する。	経理課	670
	イ	教育研究環境に関する整備計画を策定し、計画的に研究活動を促進する環境を整備する。	480	イ	外部資金獲得支援に係る研修会（動画講座、オンライン研修）を開催するとともに、・科研費申請レビューを支援する。	教育研究開発委員会	680
				ウ	研究助成公募について周知するとともに、研究助成応募へのインセンティブについて検討する。	教育研究開発委員会	680
				エ	よろずカフェを開催する。	教育研究開発委員会	680
				オ	紀要の発刊、投稿数の増加に向けたニーズ調査を行う。	教育研究開発委員会	680
			520	カ	教育研究環境に関する整備計画を策定する。	事務局(経理課)	680
ウ	危機管理基本マニュアル等の更新・見直しを行うとともに、緊急連絡網（メールシステムを含む。）伝達訓練と避難訓練を実施し、災害等に対する危機意識の向上を図る。	1010	キ	防災訓練や安否確認訓練を行う。	危機管理委員会	690	
			ク	各種管理マニュアルを点検し、必要な改正を行う。	危機管理委員会	690	
教員研究等環境	エ	学習環境に係る全学的な整備状況の把握及び整備要望を下に、経営会議において必要な整備について協議する。	470	ケ	学習環境整備（施設・設備、学習・情報資源）と学生支援に関する検証と整備要望のとりまとめを行う。	教学マネジメント会議	700
教育研究等環境	オ	図書館、学術情報サービスを提供するための体制を整備し、教育研究活動の促進を図る。	465	コ	図書館、学術情報サービスを提供するための体制を整備し、教育研究活動の促進を図る。	教育研究開発委員会	710

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画（秋田 看護）

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	大学 通し 番号
	記号	施策	一連コ ード	記号	内容		
教育研究等環境	カ	時代の変化に即し、関係法令や倫理指針等を遵守した研究を適切に推進する。	990	サ	著作権利用に関する研修会を開催する。	教育研究開発委員会	720
				シ	研究不正防止に関する研修会を開催する。	教育研究開発委員会	720
				ス	研究倫理教育を行う。	教育研究開発委員会	720
	キ	研究費の不正使用や研究不正を防止する。	1000	セ	個人研究費等の執行手続きの見直しを実施する。	事務局(経理課)	730
	ク	本学独自のDX推進計画を策定し、情報セキュリティに関する意識の向上を図る。	500	ソ	学内提供サービスを把握する。	情報システム委員会	740
	ケ	安全安心な情報システムの利用のためのマニュアルを作成し、情報セキュリティに関する意識の向上に努めながら、事務の効率化など、不断の業務の改善を進める。	490	タ	本学CSIRTとの関係を整理する。	情報システム委員会	750
				チ	現システムの状態を把握する。	情報システム委員会	750
	ク	安全安心な情報システムの利用のためのマニュアルを作成し、情報セキュリティに関する意識の向上に努めながら、事務の効率化など、不断の業務の改善を進める。	1020	ツ	教職員向け情報セキュリティ研修会を開催する。	情報システム委員会	750
コ	経営会議は、教育研究等環境の適切性について定期的に点検・評価を行うとともに、その結果を基に改善・向上に向けて取り組み、関係委員会に指示する。	1038	テ	経営会議は、教育研究等環境の適切性について定期的に点検・評価を行うとともに、その結果を基に改善・向上に向けて取り組み、関係委員会に指示する。	経営会議	760	
社会連携・社会貢献	ア	理念・目的を実現するため、社会連携・社会貢献に関する方針を明示する。	805	ア	理念・目的を実現するため、社会連携・社会貢献に関する方針を明示する。	地域貢献委員会	770

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画（秋田 看護）

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	大学 通し 番号
	記号	施策	一連コ ード	記号	内容		
社会連携・社会 貢献	イ	大学コンソーシアムあきた」の事業活動に積極的に参加する(単位互換授業の提供科目の拡大)とともに、受講状況及び受講者アンケート結果を学内に周知し、事業に対する全学的な意識の向上を図る。	910	イ	高等教育セミナーを実施する。	FD・SD委員会	780
				ウ	単位互換授業を実施する。	FD・SD委員会	780
				エ		FD・SD委員会	781
				オ	高大連携授業を行う。	FD・SD委員会	785
	ウ	地域課題の解決に向けた研究を推進する体制を整備する。	560	カ	・秋田赤十字病院研究班への指導・助言（5月～12月）を行うとともに研究支援に関する病院側のニーズを調査する。	教育研究開発委員会	790
				キ	・研究に関するニーズ調査を行う（研究手法に関する勉強会・プロジェクト編成・研究スキルなど）。	教育研究開発委員会	790
	エ	医療・福祉や災害関連のテーマで、一般市民を対象とした公開講座を実施する。	790	ク	公開講座を開催する。	地域貢献委員会	800
	オ	社会における様々なニーズを把握し、自治体や民間団体と連携し、本学の教育、研究成果を還元する活動のあり方を検討していく。	800	ケ	ニーズ把握や学外団体との連携を図る。	地域貢献委員会	810
	カ	日本赤十字社秋田県支部をはじめとする赤十字関係団体及び自治体や民間団体と連携した社会貢献活動を展開する	820	コ	秋田県内の赤十字施設と協力して、子どもたちが各施設の職業を体験する。	赤十字教育委員会	820
				サ	秋田県内の企業・自治体等と連携し、防災に関するフェス実施の準備をする。	赤十字教育委員会	820

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画（秋田 看護）

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	大学 通し 番号
	記号	施策	一連コ ード	記号	内容		
社会連携・社会 貢献	キ	学内で地域課題についての関連情報を共有し、行政機関等と連携しながら、大学としての取り組みを推進する。	810	シ	行政機関等との連携事業（受託事業、共同研究等）を行う。	学長政策室	830
	ク	学内施設やグラウンド等を積極的に開放する等、地域との連携を強化する。	830	ス	要望に応じて、学内施設やグラウンド等を積極的に開放し、地域との連携強化に努める。	事務局（総務課）	840
	ケ	教員の専門分野における知見を生かし、行政機関や各種団体の委員会等に積極的に派遣する。	840	セ	専門分野の知見を活かし、自治体の外部委員や各種団体等の委員として積極的に教員を派遣する。	事務局（総務課）	850
	コ	行政機関、各種団体及び企業と連携を積極的に進め、連携協定を締結する。	850	ソ	行政機関、各種団体及び企業と連携を積極的に進め、連携協定を締結する。	事務局（総務課）	860
	サ	教育現場からの出前授業等の要請に対し教員を派遣する。	860	タ	県内の中学校・高校へ出前授業の案内を通知する。	事務局（入試・広報課）	870
	シ	現職看護師のスキルアップ等のリカレント教育の導入を検討する。	390	チ	現行カリキュラムを評価し、リカレント教育プログラムを検討する。	教務委員会（学部）	880
大学運営・財務	ア	理念・目的を実現し、大学の機能を円滑かつ十分に発揮するため、大学の運営に関わる方針を明確にする。	915	ア	理念・目的を実現し、大学の機能を円滑かつ十分に発揮するため、大学の運営に関わる方針を明確にする。	経営会議	890
	イ	私立大学等改革総合支援事業の調査票の自己採点結果を踏まえ、教育や入試等の改革を推進する。	940	イ	私立大学等改革総合支援事業の各項目について自己採点を踏まえ、対応方針を決定し、関係する委員会等に指示する。	学長政策室	900
	ウ	将来の秋田キャンパスのあり方に関する検討結果を踏まえ、大学の名称を変更する。	1120	ウ	名称変更プロジェクト計画を策定するとともに周知事業等を実施する。	学長政策室	910
	エ	各委員会が所掌している「付随事業」の見直しを行う。	1050	エ	「付帯事業」の見直しを実施する。	事務局（経理課）	920

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画（秋田 看護）

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	大学 通し 番号
	記号	施策	一連コ ード	記号	内容		
大学運営・財務	オ	寄付金収入の増加に向けた取り組みを強化する。	900	オ	寄付を受付ける。	事務局(経理課)	930
	カ	ハローワークや秋田県、秋田県介護福祉士会等との連携により、受託事業の拡充による財源の多様化を図る。	1030	カ	受託事業を受け入れる。	事務局(経理課)	940
	キ	法令及び自律的なガバナンス・コードを基本としてガバナンスの実効性を高め、情報公開等により大学運営の透明性を高める取り組みを推進する。	920	キ	大学・短大のガバナンスコードを点検・評価し、結果を公表する。	経営会議	950
	ク	日本赤十字社秋田県支部や病院等との人事交流の実施や日本赤十字社及び学園本部主催の職員研修に職員を派遣する。	1080	ク	秋田県支部との人事交流の実施や日本赤十字社及び日本赤十字学園主催の職員研修に職員を派遣する。	事務局(総務課)	960
	ケ	教育研究活動を支援しそれを維持・向上させるため、定期的な組織体制の見直しを実施し、適切な支援組織を整備する。	930	ケ	大学・短大の組織体制を見直す。	学長政策室	970
	コ	学長の方針、中・長期の計画や経営情報について、ホームページ等で学生への周知を図るとともに、教職員に対しては全教職員会議において経営状況等の報告を行い、経営意識の醸成、共有化を図る。	960	コ	全教職員会議において本学の経営状況の報告を行い、経営意識の醸成、共有化を図る。	事務局(総務課)	980
	サ	学内におけるハラスメント防止対策や教職員の健康管理を推進する。	980	サ	ハラスメント防止対策に関する意識の啓蒙・向上を図るため、全教職員対象の研修会を開催する。	ハラスメント防止対策委員会	990
	シ	働きやすい職場環境づくりを進めながら、SDGsの実現を目指す。	1090	シ	事務職員の時間外労働の削減に努める。	事務局(総務課)	1000
				ス	教職員の有給休暇取得日数の向上に努める。	事務局(総務課)	1010
ス	施設・大型設備にかかる整備計画を策定し、毎年度計画を点検しながら計画的に維持修繕や更新を実施する。	1040	セ	施設・大型設備にかかる整備計画を策定する。	事務局(経理課)	1010	

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画（秋田 看護）

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	大学 通し 番号
	記号	施策	一連コ ード	記号	内容		
大学運営・財務	セ	省エネルギー・再生可能エネルギーに配慮した設備更新を行う。	1100	ソ	省エネルギー・再生可能エネルギーに配慮した設備更新を行う。	事務局（経理課）	1020